



奥出雲

2

No.215

今月号の主な内容

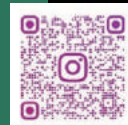
フォーカス 高尾小学校の落語学習	2
ディスカバー 農山漁村(むら)の宝優秀賞受賞	4
令和5年度からがん検診の申込方法が変わります	6
新規医師紹介	8

「子どもたちのこころを育む活動」全国大賞受賞

高尾小学校の落語活動



まちの魅力
発信中！



Instagram



Facebook

フォーカス 奥出雲創生の現在地

高尾小学校の落語活動



写真・第53回博報賞受賞記念祝賀寄席にて、これまでの卒業生とともに

高尾小学校が取り組む落語を取り入れた活動が、全国で注目されています。今年で10年目を迎えた落語活動は、令和4年11月に公益財団法人博報堂教育財団が実施する第53回博報賞を受賞し、令和5年2月にはパナソニック教育財団が実施する「子どもたちのこころを育む活動」で全国大賞を受賞しました。高く評価される高尾小学校の特色ある教育実践は、どのようにして生まれ、現在まで続けられてきたのか。高尾小学校の桑山校長に伺いました。

落語活動のはじまり

高尾小学校の落語は平成25年、若葉学級（3・4年生）の子どもたち4名から始まりました。

小規模校の高尾小学校で、当時の担任の先生が、子どもたちの表現力や人前で物おじしないたくましい心、自己開示力を育てていくうえで、落語が適していると思ったことがきっかけです。そして「ここに寄席」と銘打って、総合的な学習の時間に取り入れられました。

始めのころは、地域のおじいちゃん、おばあちゃんを元気にしたいと、高尾地区のお年寄り宅へ訪問させていただき、稽古の成果を披露していただきました。そして、子どもたちはたくさん褒めてもらうことで、もつと頑張ろうという気持ちが高まってきました。

高尾のお年寄りに笑いと健康をお届けし、元気にしたいという理念は、落語活動の原動力として現在も脈々と受け継がれています。

「にこにこ寄席」の飛躍

落語活動に取り組んで3年目となる平成27年には、長者の湯で開催された「高齢者ふれあいサロン」で落語を披露。初めて校区外での披露が実現しました。

翌年の平成28年には、当時の6年生が11月に開催される学習発表会（高尾っ子祭り）で落語を発表したいと希望したことをきっかけに、落語活動が全校児童に広がりました。そして亭号（落語家の芸名のうち苗字にあたる部

分）も、双葉学級（1・2年生）は「双葉亭」、若葉学級（3・4年生）は「若葉亭」、青葉学級（5・6年生）は「青葉亭」に決まりました。さらに同年の大晦日、町内の玉峰山荘で落語を披露。このことが新聞やテレビで紹介されたことになり、県内各地から出演依頼が来るようになり、落語を披露する機会が近隣の市町に広がっていきました。

2回の東京公演

落語の活動が広く知られ、子どもたちの活動の場も増えていく中で、当時5年生の「青葉亭おすし」さんが、寄席のマクラ（本題に入る前の話し）で「高尾小学校のここに寄席も、いろいろなところからオファーが来るようになり、ぼくの目標であるニューヨーク公演もだんだん近づいています。」と語りました。

これをきっかけとして、担任の先生は、児童の夢を少しでも叶えてあげるため、ニューヨーク公演への第1歩として、せめて県外公演を実現したいと考えるようになりました。

こうした中、奥出雲町出身で相模女子大学の宮崎敦子先生が、高尾小学校の落語活動に感銘を受けて日本学習社会学会に働きかけてくださり、平成31年に日本大学での学会開催にあわせた初の東京公演が実現しました。

東京公演には、若葉亭3人、青葉亭4人に加え、ニューヨーク公演を夢見ていた当時中学1年生の「青葉亭おすし」の計8人が参加しました。公演当日は、関東一円から奥出雲町



地域みなさんに落語を披露

や島根県にゆかりのある方、日本学習社会学会の関係者など、約1000名の方に集まっていた。大盛況でした。児童は堂々と寄席を披露し、自信を深める機会になりました。

東京公演の後は寄席の依頼が激増し、令和元年度は42回もの公演がありました。その後も、毎年20回前後の公演を実施しています。

そして、令和4年12月には、博報賞の受賞を受け、再度の東京公演も実現しました。2回目の東京公演では、会場の確保に困っていたところ、跡見学園中学校・高等学校が無償で会場を提供して下さることとなり、跡見李子記念講堂で開催しました。

高尾小学校ではこれまで、三遊亭楽磨呂師匠に何度か来ていただき、児童に稽古をつけていただいているのですが、東京公演には三遊亭楽磨呂師匠も駆けつけてくださいました。



平成27年 長者の湯での落語披露

落語活動を始めて以降、落語に取り組んだ児童数は累計で17名ですが、このうち12名が2回の東京公演のうちどちらかを経験しており、多くの児童に大舞台を経験させることができている。

落語教育の可能性

良い落語とは言葉の力だけで、聞き手の脳裏に画像として情景が浮かぶこと。高尾小学校の児童は、落語活動の目的である「①子どもたちの表現力育成」「②ネタを磨く」「③人前で物おじしないたくましい心の育成」「④場数を踏む」「⑤自己開示力の育成」「マクラ」を通じて言葉の力を磨き、自己を成長させていきます。

例えば、児童が大舞台に一人で立つと、事前にどんなに稽古を積んでも一度は頭が真っ白になります。そのときに経験した孤独感、場に応じた対応



平成31年 初めての東京公演

力、聴衆の笑いを取ることに難しさは、児童の成長につながる貴重な学びです。高尾小学校で落語活動に取り組んだ児童は、卒業後も表現力や物おじしない心をもって各地で活躍しています。

全校での落語活動には、小規模校だからこそできる柔軟さも活かされています。落語のネタは基本的に児童が自主的に学びますが、異学年の交流が盛んで、下級生は上級生の寄席を見て学んでいきます。そのためネタを覚えるスピードが速く、どの児童も3〜4つのネタは披露できます。また、もちろん、活動が継続できているのは保護者や地域の協力があったからこそです。

ここに寄席は、高尾のお年寄りを元気にしたいと願う子どもたちの心の成長はもちろん、地域の人たちや聞き手の心も豊かにする無限の可能性を秘めています。



奥出雲町長 糸原 保

今月号より「奥出雲創生」を総力戦で進めていくために、町の広報奥出雲も単なる情報提供では無く、まちづくりに対する背景や、関係者の思いなどにも踏み込んだ内容にしてはどうかとの職員提案があり、不定期で「奥出雲創生の現在地」として町民の皆様にご報告してまいります。

今回ご紹介する、高尾小学校の落語活動は、平成25年から始まった取り組みであり、当時の先生や保護者、地域の皆様の熱い思いは、今もより力を増して引き継がれ、全国にも評価される取り組みになっています。

もっと大事なことは、関係の皆様への熱い思いや愛情が、子どもたちに確実に伝わっていることだと思います。表紙の児童の皆さんの表情をご覧ください。これだけ解って頂けるのではないのでしょうか。私はこつした熱い取り組みが、奥出雲町で生まれ、引き継がれていけば人口減少に総力戦で立ち向かう「奥出雲創生」が実現できると確信しています。

※表紙は、令和4年12月に開催された東京公演の際の写真です。

デイスカバー農山漁村(むら)の宝 優秀賞受賞 ダムに見える牧場 大石亘太さん

農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、「強い農林水産業」や「美しく活力ある農山漁村」の実現を目指す「デイスカバー農山漁村(むら)の宝」の第9回選定において、奥出雲町佐白でダムの見える牧場を経営する大石亘太さんが、グランプリに次ぐ優秀賞(個人部門)を受賞しました。全国から応募があった616件のうち、37件が選定され、うちグランプリは1件、優秀賞は3件です。

ダムの見える牧場は、尾原ダムに隣接する牧場で乳牛の放牧を行っており、生乳出荷の他に、奥出雲町観光協会と連携したバターづくりツアーや施設見学等も行うなど、地域に根差し、観光にも貢献する牧場として高く評価されました。

大石さんは1月18日に役場仁多庁舎を訪れ、糸原町長に受賞を報告しました。報告では昨年12月に総理大臣官邸で授与された選定証を披露するとともに、「2000年経っても地域の価値になるような牧場を目指し、今後は、牛乳を使ったお菓子販売にも取り組んでいきたい。」と述べました。



日刀保たたら操業

鳥上の日刀保たたらで1月25日、今年のたたら操業が始まりました。

関係者による操業の安全と成功の祈願の後、村下(たたら操業の技師長のこと)の木原明さんと、村下代行の三上孝徳さんが、「初種」と呼ばれる砂鉄を粘土の炉に挿入しました。以降30分おきに砂鉄と木炭を交互に炉に入れ、3日3晩かけて鋼と呼ばれる鉄の塊が生産されます。

日刀保たたらでの操業は、令和3年と4年は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、年1回のみ操業されていましたが、今年はコロナ前と同様の年3回操業となりました。操業は2月11日まで続けられ、鉬から取り出された玉鋼は日本刀の原料として、全国の刀匠へ提供されます。



高尾小学校の落語活動「子どもたちのこころを育む活動」最上位の全国大賞受賞



高尾小学校の落語活動が、公益財団法人パナソニック教育財団が主催する「こころを育む総合フォーラム」の「2022年度 子どもたちのこころを育む活動」において最上位の全国大賞を受賞し2月9日、東京都で表彰式が開催されました。

全国から応募のあった157件のうち、入賞は高尾小学校を含む7件で、うち全国大賞が1件、優秀賞が5件、奨励賞が1件です。審査において高尾小学校の落語活動は「非常にユニークな手法で子どもたちの豊かな人間性を育てている。子どもたち同士が支えあい、一生懸命取り組む姿が地域の交流を生み、元気づけている。」と高く評価されました。

令和4年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 第72回全国高等学校スキー大会

横田高等学校 景山和葉さん出場



インターハイの女子スラロームに出場する横田高校の景山和葉さんに対する激励式が2月1日、役場仁多庁舎でありました。景山さんは1月5日と6日に開催された島根県予選で優勝し、2年連続でインターハイの出場権を獲得していました。

インターハイは2月7日から11日にかけて、山形県最上町の赤倉温泉スキー場で開催されます。激励式で景山さんは「初めてのインターハイではないので、今までの全国大会での経験を活かして、今までの以上の成績が残せるように、頑張っていきたいと思います。」と意気込みを述べました。

活動を紹介します

令和4年度住民提案型 きらり☆輝く地域づくり事業

住民の皆さんが自ら主体的に企画・実施する、公益性のあるまちづくり活動の支援を目的とした「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」では今年度9団体が採択され、活動が行われています。今回は、そのうちの1団体「福頼の景観を守る会」の活動を紹介します。

福頼の景観を守る会

日本農業遺産に認定されている福頼集落の棚田では、近年各方面から見学者が増えており、地元では展望台までの道や周辺の草刈りを行い、見学しやすい環境維持に努めています。

今回の事業で、駐車場を整備することで、さらに多くの観光客に棚田の成り立ちやそこで生産される仁多米の魅力を伝え、ファンになっていただくことで、消費の拡大につながることを目標にされています。



【きらり輝く地域づくり事業に関するお問い合わせ】

まちづくり産業課 有線 311-5267

電話 54-2524

小学生 スーパードホッケー交流会

町内全小学校の6年生を対象としたスーパードホッケー交流会が2月6日、町民体育館で開催されました。スーパードホッケーは、屋内において行う軽量のプラスチック製のスティックとボールを使った5人制の競技で、交流会は奥出雲町で盛んなホッケー競技を通じた冬期間の体力づくりと、4月から中学校に進学する児童同士の交流を目的として町教育委員会が開催しています。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、交流会は午前が仁多地域の児童、午後が横田地域の児童と、分けて開催されました。1試合は前後半各5分で行われ、白熱した試合が繰り広げられました。



風しん抗体検査と定期予防接種にご協力下さい!

奥出雲町では、風しんの公的予防接種を受ける機会がなかった皆様に、風しんの抗体検査と予防接種を無料で受けていただけるクーポン券をお送りしています。

【対象者】 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

- ※ 今年度は、前年度までに抗体検査を受けていない方へクーポン券を送付しています。
- ※ クーポン券を紛失の場合、再発行できますので、下記へお問い合わせ下さい。

令和4年度のクーポン券の有効期限は、**令和5年3月31日**までです。



風しんは成人がかかると症状が重くなる場合があります。特に、妊娠初期の妊婦さんが感染すると、生まれてくる赤ちゃんの、目や耳、心臓に障がいが起こる「先天性風しん症候群」を発症することがあります。

あなたと、これから生まれてくる世代の子どもたちを守るために、風しんの抗体検査と予防接種を受けましょう!

【お問い合わせ】 奥出雲町役場健康福祉課 有線31-5147 電話54-2781

3月は「自死対策強化月間」です

毎年3月を自死対策強化月間として、全国的に自死予防の取り組みを強化しています。3月から4月は、進学や就職、転勤など、生活環境が大きく変化することでストレスや不安を抱えやすい時期です。ストレスや不安を感じた時はひとりで悩まず、まずは信頼できる人や公的な機関に相談してみましょう。

◆身近にこんな人はいませんか?

- 表情が暗く元気がない
- 体調不良 (体の痛みや倦怠感) を訴えることが増えた
- 仕事や家事の能率が低下、ミスが増えた
- 人付き合いを避けるようになった
- 遅刻や欠勤が増えた
- 趣味や外出をしなくなった
- 飲酒量が増えた

気づきのコツは、**【普段と違う】**

このような様子に気づいたら…

- ・声をかけ、話を聴きましょう
- ・下記の相談窓口などを紹介することもよいでしょう

～一緒に考える相談先があります～

相談窓口	電話	受付時間・開催日時等
島根いのちの電話	(0852) 26-7575	月～金曜 9:00～22:00 土曜9:00～翌日曜22:00 (年中無休)
臨床心理士による こころの健康相談	◆要予約 (0854) 54-2781	毎月第1月曜(原則) 14:00～15:00 役場仁多庁舎
こころの健康& もの忘れ相談	◆要予約 (0854) 42-9642	毎月第2火曜日又は第3火曜日 13:00～15:00 雲南保健所



12月に開催された第54回全国高等学校選抜サッカー大会で優勝し、高校3冠を達成した横田高校男子サッカー部の優勝報告会が17日、役場仁多庁舎で開催されました。横田高校男子サッカー部からは3年生が参加し、3冠に対するプレッシャーを力に変えたことや、自分たちの良さが出せたことで大会を通じて無失点に抑え、18ゴールを挙げるなど、大会の感想を述べました。



第54回全国高等学校選抜サッカー大会 (岐阜県各務原市)
祝優勝横田高校男子サッカー部

サッカー選抜優勝報告会



令和5年度からがん検診の 申込方法が変わります!

変更点
①

がん検診の受診希望申込書は
今年から実施しません



例年1、2月頃に実施しているがん検診の受診希望申込は、今年から実施しません。



変更点
②

4月に送付するがん検診のご案内を見て
電話で予約をしてください



<今後のがん検診申込のながれ>

1. 4月に対象の方へ個別にがん検診のご案内を送付します。
2. 受けたいがん検診を決めます。
3. がん検診のご案内を見て、各検診の予約先へ電話で申し込みます。詳しくは4月にお送りするがん検診のご案内をご確認ください。



【お問い合わせ】 奥出雲町役場健康福祉課 有線31-5147 電話54-2781

新規医師紹介

池尻 文良 奥出雲病院 内科部長



奥出雲病院には今まで10年以上、非常勤の血液内科医として赴任していました。

これからは常勤として、専門にござらざる内科全般しっかりと頑張りたいと思いますので、顔を覚えてもらえるとうれしいと思います。



人権擁護委員に1名が再委嘱されました

人権擁護委員として町民の人権相談や啓発活動にご尽力いただいている山田朱美さん（布勢）が1月1日付けで法務大臣から人権擁護委員に再委嘱されました。任期は3年です。よろしくお願ひします。

奥出雲町では6名の人権擁護委員が特設人権相談所の開設や出前講座、学校訪問などの人権啓発活動に取り組んでいます。お気軽にご相談ください。

【奥出雲町の人権擁護委員】

- 久井 一 さん（亀高）
森山 潔 さん（馬木）
渡部 昭雄さん（八川）
長谷川恵美子さん（三成）
山田 朱美さん（布勢）
廣田 孝子さん（馬木）



環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!

室温を暖かく保ちながら上手に換気

感染症の流行で、室内を換気する意識が高まっていますが、寒い冬は、換気をためらってしまいませんか。

室温を保つためには、今いる部屋の窓を開けるのではなく、誰もいない部屋の窓を開けて外の空気を取り入れ、部屋のドアを少し開けて換気する「二段階換気」という方法があります。

今いる部屋に直接外の冷たい空気が入るのではなく、ほかの部屋を経由して少し暖められてから入ってくるので、室温を維持するのに有効です。

暖房器具を置く場所は、開けた窓の近くが効果的です。外からの冷たい空気がすぐに暖められるので、室温が下がりにくくなります。カーテンなど燃えやすいものには気をつけてください。

床暖房や換気しながら暖房できるエアコンを利用するのも一つの方法です。

厚生労働省では、室温18度以上かつ湿度40%以上を保ちながら換気することを勧めています。

湿度計と温度計をチェックしながら、寒い冬も、暖房器具を上手に使用して室温を維持しながら、換気をして感染症予防も温暖化対策もしてみましよう。



横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」 横田高校剣道部女子、全国大会出場決定!



12月に行われた県高校新人剣道大会で、井上響喜さんが準優勝、福岡圭介さんが男子個人ベスト8の成績を収め、中国新人大会への出場を決めました。また、同大会で女子団体は準優勝を果たし、中国新人大会及び全国選抜大会への出場権を獲得しました。

女子主将の吉原桃姫さんは、「全国選抜での勝利という新たな目標ができ、大会に向けて意識を高めて練習しています。全国という舞台に立てることに感謝しながら、一人一人が自分の良さを生かして勝利できるように頑張ります。また、私たちの全国大会出場をきっかけに、地域の小中学生が一人でも多く剣道に興味を持ってくれると嬉しいです。」と思ひを話しました。

中国新人大会は3月11日、12日に広島県で、全国選抜大会は3月26日〜28日に愛知県で開催されます。地域の皆様のご声援をよろしくお願ひいたします。

余暇活動について考えてみませんか?

奥出雲町在住65歳以上の方にアンケートを行ったところ、社会的なつながりをもたない人（社会的孤立）は21%いることが明らかになりました。そして、社会的孤立に該当する方は「余暇活動」を十分に行えていない可能性が示唆されました。余暇活動が充実していないほど幸福度が低くなることや、余暇活動の充実が認知機能とも関係しているという研究報告もされています。

私たち作業療法士は、疾病や加齢により生活に支障のある方の生活や社会参加、生きがいや余暇活動に対して、機能訓練だけではなく、新しい方法や考え方を提案し、時には人との繋がりに対しても支援を行う職業です。

今回の研究結果から、奥出雲町内の高齢者が心身共に健康やか（幸福）に過ごしていただくために、作業療法士として、皆様の余暇活動を充実できるような支援を行う必要性を感じました。アンケートは令和4年に実施され、作業療法学会で発表されました。ご協力いただきありがとうございます。

研究者：島根リハビリテーション学院

作業療法学科教員 仲田奈生



幸福に過ごしていたが、町内では素敵な余暇活動がたくさんあります！はじめてみてはいかですか？



奥出雲町の体験等情報提供：奥出雲町観光協会

3月の行事予定

★★古紙回収★★ (問)町民課54-2510

八川	八川コミセン 三井野原ふれあいセンター	4日(土)
馬木	馬木コミセン ゆうげ交流センター下隣り倉庫	
布勢	布勢コミセン	11日(土)
阿井	家畜集合施設 下阿井運動広場	
三沢	三沢公民館	
横田	横田コミセン横 役場横田庁舎裏	18日(土)
鳥上	鳥上コミセン	
三成	役場仁多庁舎玄関横 下高尾旧消防格納庫	25日(土)
亀高	亀高基幹集落センター 鳥谷木材店車庫	

★★令和5年3月定例会★★

本会議(初日)	2日(木)	9:30
予算決算特別委員会	3日(金)	9:30
総務経済常任委員会	6日(月)	9:30
教育福祉常任委員会	7日(火)	9:30
本会議(一般質問1日目)	10日(金)	13:30
本会議(一般質問2日目)	13日(月)	9:30
本会議(一般質問予備日)	14日(火)	13:30
予算決算特別委員会(集約)	15日(水)	10:00
本会議(最終日)	23日(木)	9:30

※日程は変更になる場合があります。

★★所得税確定申告及び町県民税申告相談★★

3月1日(水)～3日(金)	役場仁多庁舎
3月6日(月)～15日(水)	横田コミセン

★★乳児健診★★

(問)健康福祉課54-2781

4・5か月児健診	23日(木)	令和4年10月・11月生	13:30～13:45	奥出雲健康センター
3歳児健診	9日(木)	令和元年7月・8月生	13:00～13:15	

★★健康に関する相談★★

こころの健康相談日	6日(月)	14:00～15:00(予約制)	役場仁多庁舎	(問)健康福祉課
歯と口の健康相談室/健康・栄養相談日	16日(木)	10:00～12:00(予約制)	役場横田庁舎	54-2781
もの忘れ相談会	21日(火)	9:00～16:00	役場仁多庁舎	(問)地域包括支援センター 54-2512
こころの健康&もの忘れ相談	14日(火)	13:00～15:00(予約制)	雲南保健所	(問)雲南保健所 42-9642
アルコールによる困りごと相談	20日(月)	13:00～15:00(予約制)		

★★結婚・子育てに関する相談★★

結婚・子育て コンシェルジュ相談所	19日(日)	10:00～15:00	横田コミセン	(問)町民課 54-2510
	28日(火)		カルプラ仁多	
結婚相談所「はぴこ」	12日(日)	10:00～15:00(予約制)	横田コミセン	(問)奥出雲はぴこ会 090-2860-2082(渡部)
	15日(水)	16:00～19:00(予約制)	カルプラ仁多	

★★イベント★★

(問)奥出雲多根自然博物館54-0003

素読論語「仁多志学塾」	8日(水)	19:00～	奥出雲多根自然博物館
-------------	-------	--------	------------



★★その他の相談★★

出張年金相談	3日(金)	10:00～15:30 (予約制)	役場仁多庁舎	(予約先) 松江年金事務所 0852-23-9540
	17日(金)		役場横田庁舎	

口座振替のお知らせ

税金・使用料など公共料金の2月分の口座振替は2月28日(火)です。今回の振替は次の通りです。

- 固定資産税(第4期)
- 国民健康保険税(第8期)
- 後期高齢者医療保険料
- 情報通信使用料
- 水道使用料
- 下水道使用料
- 住宅使用料
- 住宅駐車場使用料
- 住宅共益費
- 老人ホーム入所費用等徴収金
- 介護サービス利用料
- 介護老人保健施設利用料

※納税通知書等で金額をご確認いただき、今一度通帳残高をお確かめいただきますようお願いいたします。

下水道使用料金(公共・農業合併)について

◎使用人数の変更(転入・転出・出生・死亡)があった場合は、速やかに役場水道課へ届出を下さい。使用人数によって使用料金が変わります。

令和5年10月から消費税込インボイス制度が始まります。

登録を予定されている事業者の方へ登録申請はお早めに!

消費税込インボイス制度

登録申請手続は、かんたん・便利! **e-Tax** をご利用ください!!

- 「e-Taxソフト(WEB版)」をご利用いただくと、質問に回答していくことで申請が可能です。
- e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受領が可能です。
- 個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。

※e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

説明会を開催中

税務署での説明会やオンラインでの説明会をご案内しております。

制度について詳しくお知りになりたい方は、国税庁ホームページ(https://www.nta.go.jp)の「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。

特設サイトへ

特設サイトでは

- 制度の解説動画
- AIを活用したチャットボット
- インボイスコールセンターなどをご案内しております

みんなの掲示板

海上保安官募集

海上保安学校学生採用試験(特別)(10月入校)

◆受付期間 3月1日～3月8日

◆第1次試験 5月14日

◆海上保安官採用試験(初任科)(4月入校)

◆受付期間 3月1日～3月20日

◆第1次試験 6月4日

※受験資格等の詳細は、海上保安庁ホームページをご覧ください。

お問い合わせ

境海上保安部管理課

0859-142-12532

スポーツ安全保険

小さな掛金、大きな補償

保険期間 令和5年4月1日午前0時から 令和6年3月31日午後12時まで

保険内容 詳しい保険の内容は、ホームページなどをご覧ください。

4名以上の団体・グループでご加入ください。

スポあんネット

パソコン・スマホでだれでも、かんたん便利に使いやすい!

公益財団法人 スポーツ安全協会

スポーツ安全保険 検索

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金(1人当たり)
子ども(中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
大人(高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C(64歳以下)	1,850円
		B(65歳以上)	1,200円
全年齢	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども(中学生以下)	個人活動補償型 A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人(高校生以上)	個人活動補償型 C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW(64歳以下)	4,850円
		B(65歳以上)	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和5年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社 担当課 公務第2部 文教公務室 0120-233-801 (平日9:00～17:00)

〈共同引受保険会社(令和5年4月予定)〉 あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

令和4年12月作成 22TC-100081

有害鳥獣の捕獲・駆除実績

奥出雲町では、有害鳥獣捕獲班の皆さんに有害鳥獣を捕獲・駆除していただいています。令和4年12月の捕獲・駆除頭数実績は次のとおりです。

地域	コノゾカ	イノシ	タヌキ	カラス	サギ類	その他
仁多地域	3	37	16	7	0	4
横田地域	0	17	8	0	0	1
合計	3	54	24	7	0	5

その他は、アナグマ、ヌートリア等の合計です。

有害鳥獣による農作物被害があった場合は、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】 農林振興課 農業生産グループ
有線：31-5288 電話：54-2513

・ 今月のピックアップ ・

『光のところにいてね』

古びた団地の片隅で、彼女と出会った。彼女と私は、なにもかもが違った。着るものも食べるものも住む世界も。でもなぜか、彼女が笑うと、私も笑顔になれた。彼女が泣くと、私も悲しくなった。

彼女に惹かれたその日から、残酷な現実も平気だと思えた。ずっと一緒にはいられないと分かっていたながら、一瞬の幸せが、永遠となることを祈った。

(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書室

「教誨」

袖月裕子 著

「レッドゾーン」

夏川草介 著

「ビジュアルでわかる

江戸・東京の地理と歴史」

鈴木理生 著

「生きるために必要な『法律』のはなし」

木村真実 監修

「池の水なぜぬくの？」

安斉俊 著 絵

「ジークメーア」

斉藤洋作 著

「あかいてぶくろ」

林木林 文

3月の休室日

月曜日、祝日、
月末休室(31日)

横田コミュニティセンター図書室

「闇の聖域」

佐々木謙 著

「家康の海」

植松三十里 著

「墓石が語る江戸時代」

関根達人 著

「『よくむせる』『せき込む』

人のお助けBOOK」

「大庭さんちの保存食」

大谷義夫 著

「実験で学ぶ土砂災害」

土木学会地盤工学委員会
斜面工学研究小委員会 編集

「ジブリの食卓となりのトトロ」

スタジオジブリ 監修

3月の休室日

日曜日、祝日

※図書室にご寄付をいただきました。ありがとうございました。
仁多仏教会 様

奥出雲町定住支援サイト
Deep Town Okuizumo



住まい・仕事・子育てに関する
情報や町内で行われるイベント
情報を掲載しています。